

インドネシアCEVEST
職業訓練向上計画プロジェクト
実施協議調査団報告書

平成4年3月

国際協力事業団
社会開発協力部

巻二

JR

82-022

08
83
RS
LIBRARY

JICA LIBRARY



1110601101

インドネシアCEVEST
職業訓練向上計画プロジェクト
実施協議調査団報告書

平成4年3月

国際協力事業団
社会開発協力部

国際協力事業団

25754

序 文

1981年1月の鈴木首相(当時)のASEAN歴訪時に提唱された「人造り」構想に基づき、1983年2月16日に署名されたR/Dにより1990年3月31日まで実施された職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センター(CEVEST)プロジェクト終了後、我が国無償資金協力により建設された本施設の更なる有効活用並びにCEVESTの自立発展に資することを目的に「イ」国政府より我が国に対しての技術協力の要請があった。

これに対し、我が国は、平成3年3月にプロジェクト形成調査団を派遣し、「イ」側の国家開発計画における人材養成計画の位置付け、今後の方針および職業訓練体制の現状、工業技術レベルを調査するとともに民間企業の公共職業訓練に対する訓練ニーズの調査を行なった。右調査結果をもとに、同年6月、同年8月及び平成4年1月の三度に渡り長期調査員を派遣し、「イ」側が要望しているディプロマIIIレベル訓練の内容、具体的目標等の調査、第1フェーズ協力の成果を用いて、民間企業の在職者を対象とした技能向上訓練実施に関する企業調査及びディプロマIIIレベル訓練実施のための協力内容ならびに「イ」側の実施・運営体制について協議を行い、協力のマスタープランを策定した。

以上の調査結果を受け、国際協力事業団は平成4年3月19日から3月27日まで実施協議調査団を派遣し、同調査団は、今次協力において、①労働省の職業訓練指導員を対象としたディプロマIIIレベルの情報処理、工業電子分野の指導員養成訓練実施体制の確立、②民間企業の在職者を対象とした技能向上訓練システムの確立を柱とする協力を実施することで合意に達し、「イ」側労働省人材養成・配置総局長と平成4年3月24日に署名した討議議事録(R/D)に署名し、本プロジェクトは平成4年6月1日より5か年の協力が開始されることとなった。

本報告書は、同実施協議調査団の討議議事録署名に至る協議経過ならびに報告を取りまとめたものである。

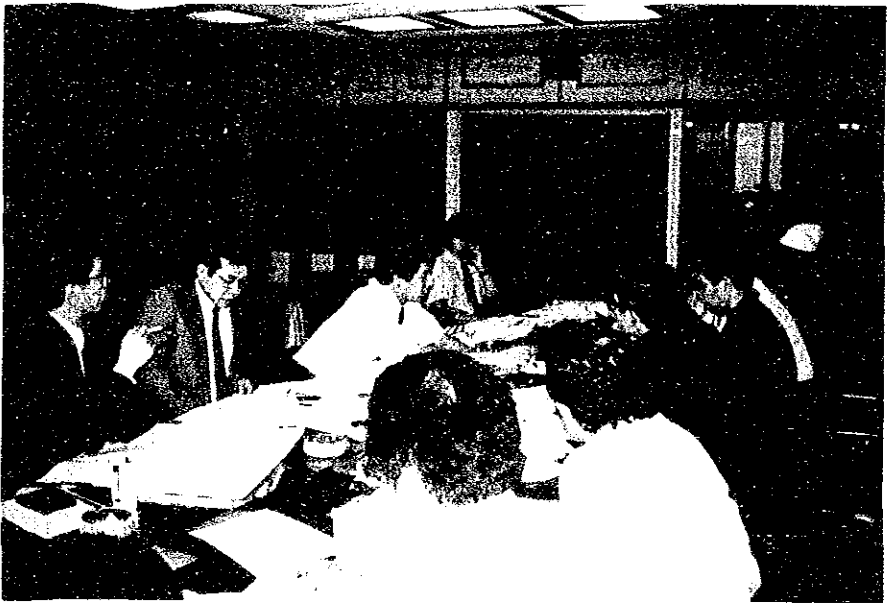
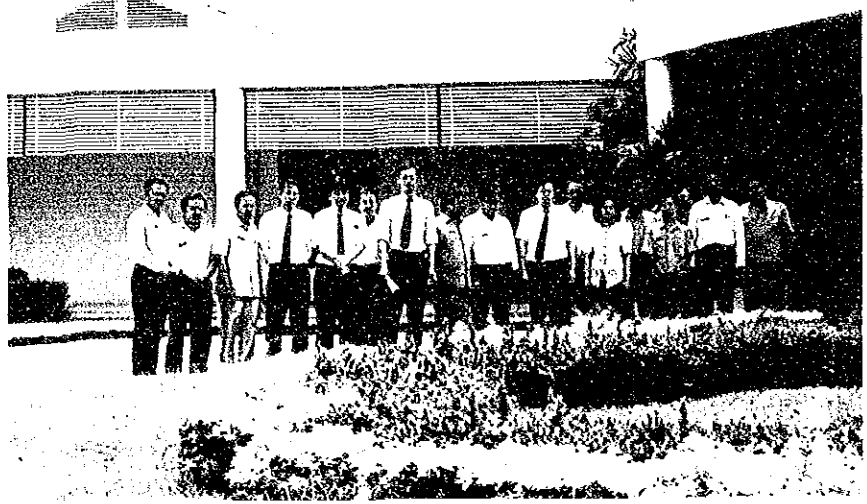
おわりに、井原実施協議調査団団長はじめ団員諸氏のご協力、ならびに外務省、労働省、在インドネシア日本国大使館及びその他の関係各位の方々に対し、深甚の謝意を表するとともに、関係各位の今後のご支援をお願いする次第である。

平成4年3月

国際協力事業団

理事 玉 光 弘 明

プロジェクトサイト前にて



「イ」側との協議

左から
高田所員
中原団員
井原団長
小林団員
木村団員



目 次

序文	
写真	
目次	
1. 実施協議調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
2. 討議議事録の交渉経緯	5
2-1 交渉経緯	5
2-2 討議議事録にかかる協議経緯詳細	7
3. プロジェクト技術協力実施概要	41
3-1 プロジェクトの目標	41
3-2 技術協力の枠組み	41
3-2-1 D3レベルの指導員訓練について	41
3-2-2 向上訓練について	42
3-3 日本側投入計画	44
3-3-1 長期専門家の派遣	44
3-3-2 短期専門家の派遣	44
3-3-3 主要機材リスト	44
3-4 インドネシア側投入	46
4. その他特記すべき事項	49
4-1 プロジェクトの土地、建物、施設について	49
4-2 合同委員会について	50
4-3 プロジェクトの組織図について	51

5. 資料	53
1. R/D文	59
2. ミニッツ	73
3. TSI	89
4. パンフレット	91

1. 実施協議調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

- (1) 1981年1月の鈴木首相(当時)のASEAN諸国歴訪時に提唱された「ASEAN人作り協力構想」に基づき、1983年2月16日署名された討議議事録(R/D)により1990年3月31日まで、我が国の無償協力で建設された職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センター(CEVEST-CENTER FOR VOCATIONAL AND EXTENSION SERVICE TRAINING)においてプロジェクト方式技術協力が実施された。この間、職業訓練分野においては、機械、板金、溶接、電気、自動車、電子分野を中心に約1,300名の職業訓練指導員を養成し、第3次、第4次の5カ年計画における最重要政策の一つである、国民の技能向上を図る為の職業訓練施設拡充計画に必要な指導員養成に対して大きく寄与した。
- (2) プロジェクト終了後、CEVESTの施設は工業省、労働省の2省による共同所管から労働省所管へと施設管理の一元化が行なわれた。これに伴い、「イ」国の石油に依存した経済構造を改革し、製造業等輸出産業の重点開発による経済発展に必要な職業能力の一層の開発とCEVESTの自立発展に資することを目的に「イ」国政府より我が方に対し①労働省が管轄する地方職業訓練センター指導員を対象に、ディプロマIIIの資格を付与する為の情報処理、工業電子の2分野の訓練(3年間)と②民間企業の在職者を対象とした技能向上訓練に関するプロジェクト方式技術協力の要請があった。
- (3) これに対し、我が方は、1991年3月にプロジェクト形成調査団を派遣し、「イ」国における開発政策と職業訓練を中心とした人材養成計画との関連ならびに民間企業の工業技術レベル等の調査を行なった。右調査を踏まえ、同年6月に民間企業の視察及び関係者との協議・資料収集を通じ、協力内容について調査することを目的に長期調査員を派遣した。引き続き、8月には、我が方の協力の取り組み方について調査・協議するために長期調査員を派遣した。さらに1月には協力のマスタープランの協議ならびに「イ」側の実施・運営体制について確認することを目的に長期調査員を派遣した。
- (4) 右結果を基に、技術協力計画内容について、先方機関との最終協議及び実施協議署名の目的で、実施協議調査団を派遣した。

1-2 調査団の構成

(1) 井原勝介 (団長)

労働省職業能力開発局海外協力課企画官

(2) 小林弘樹 (訓練計画)

労働省職業能力開発局海外協力課海外訓練協力官

(3) 藤田正広 (向上訓練)

雇用促進事業団富山技能開発センター指導員

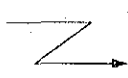
(4) 木村陽一 (工業電子・情報処理)

雇用促進事業団職業能力開発企画部国際協力課海外協力技術専門役

(5) 中原正孝 (協力企画)

JICA 社会開発協力部社会開発協力2課

1-3: 調査日程

日順	月日	曜日	行 程	調査内容
1	3/19	木	東京→ジャカルタ	移動 (GA 873)
2	20	金	労働省、JICA事務所、大使館	表敬及び打ち合わせ
3	21	土	労働省	協議
4	22	日		団内打ち合わせ、R/D案修正
5	23	月	労働省	協議、団長到着 (GA 873)
6	24	火	労働省、大使館	R/D最終協議、R/D署名
7	25	水	本田アストラ、BAPENAS	企業訪問及びBAPENASへ表敬訪問
8	26	木	JICA、大使館	JICA、大使館へ報告
9	27	金	ジャカルタ  東京	帰国

1-4. 主要面談者

氏名	職位	所属先
Mr. Isamail Sumaryo	Secretary General	Ministry of Manpower Development And Placment
Mr. Noor Djaelani	Secretary of Directer General	Ministry of Manpower Development And Placment
Mr. Sidarto Sospopranoto	Directer of Manpower Training Develoment	Ministry of Manpower Development And Placment
Mr. Andi Sagaji	Head Job Training Center	Ministry of Manpower Development And Placment
Mr. Nahesson N. Tarigan	Principal Cevest	Ministry of Manpower Development And Placment
Mr. Syamsu Ardin	Training Equipment Division	Ministry of Manpower Development And Placment
Mr. Saruli Sinurat	Training Implementation Div, Cetrnal Office For Vocational Training Center	Ministry of Manpower Development And Placment
Mr. A. A. Machrany	Head, Bureau of Manpower	BAPENAS
半 田 有 道	一 等 書 記 官	日本大使官
高 橋 昭	所 長	JICAインドネシア事務所
高 田 裕 幸	所 員	JICAインドネシア事務所
板 崎 駐 在 員		OVTA

2. 討議議事録等の交渉経緯

2-1 交渉経緯

I. R/Dの内容について

1) プロジェクトの名称について

まず、インドネシア側より、新しいプロジェクトの名称について、今まで合意している「THE SECOND PHASE OF THE CEVEST」を今回変更し「THE CEVEST VOCATIONAL TRAINING DEVELOPMENT PROJECT」としているのは何故か、インドネシア国においては、財政当局等関係機関には前記の名称で説明し、理解を得ているが、後記の新しい名称では全く新規のプロジェクト協力が、実施されるという誤解を招く恐れがあるということであった。

そこで、日本側より、CEVESTの第2フェーズという名称にすると、第1フェーズで協力した工業普及員養成センターに対する協力も含まれる意味になるので、職業訓練分野の向上であることを明確にする名称にしたいと説明した。

これらの議論を踏まえインドネシア側より「CEVEST-IIプロジェクト」に係る、過去の一連の協議を踏まえた「CEVEST 職業訓練向上計画プロジェクト」であることを具体的に文章に残したいとの強い意向があり、ミニッツで説明することで合意した。

2) 日本人専門家について

協力期間中に派遣する長期専門家について、派遣人数を削除して提案したが、インドネシア側の人材配置計画にも、人数を記入されているためインドネシア側より、今回日本側の派遣専門家の予定数についても同様に記入することについて要請があり、検討したところ、長期専門家数を明記した。

3) インドネシア側の人材配置について

プロジェクトの運営をスムーズに行うためには、労働省人材配置局にある全国153の職業訓練施設を統括する長及びディプロマⅢ(DⅢ)の訓練を管理する長をプロジェクトを運営、管理するインドネシア側の関係者に含めたいとの提案があった。日本側も検討の結果、プロジェクトの運営上適当であると判断し合意した。

4) プロジェクトの組織図について

インドネシア側は、新しいプロジェクトを支援するため、政府内で「CEVEST 推進委員会」を組織していた。右委員会組織図を、本プロジェクトの組織図としたいとするインドネシア側に対し、我方より実際のプロジェクト運営にかかる組織について説明するとともに、新しい組織図を作成し、協議の経果合意することができた。

II. 暫定実施計画 (TSI) について

日本側が提案した TSI について、インドネシア側から内容については同意するが、5 年間の計画の始期が 1 月となっているのを、会計年度が始まる 4 月 1 日に変更したい旨の提案があり、検討の結果、インドネシア側の提案どおり合意した。

III. ミニッツについて

1) 技術協力分野について

日本側から提案していた協力分野の内容について、R/D では協力分野程度の記載にとどめ詳細な内容については、ミニッツで確認することにした。

2) 施設の改修計画について

1992年3月、日本側から提出した改修計画に基づき、施設の改修を行う予定であり、インドネシア側から既に改修に要する費用を確保しているとの説明があった。改修工事については、11月ごろ完成予定であり、内装については1993年10月、D III訓練を開始するまでには終了する予定である。

3) プロジェクト推進委員会の発足について

1992年2月24日付け大臣決定により CEVEST の D III訓練を推進、支援する「ADVISORY COUNCIL」が発足した。

4) D III訓練の認可について

D III訓練開設にかかる教育文化省の認可を、訓練が開始される前には完了する予定である。

5) 専門家派遣及び機材供与に係る要請書の作成について

上記専門家及び機材を供与するに必要な要請書 (A 1 フォーム, A 4 フォーム) については、早急に作成し送付される予定である。

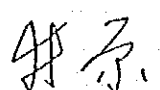

6) カウンターパートについて

インドネシア側は、今次協力のマスタープランに基づき、ディプロマIIIレベルの指導員養成訓練及び技能向上訓練に係るカウンターパートの配置について具体的人選状況の説明を受けた。

7) 本プロジェクトの成果の普及について

ディプロマIIIレベルの指導員養成訓練により育成された指導員が、工業電子、情報処理分野の訓練を地方訓練センターで実施できるよう支援していくことをインドネシア側は約束した。

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>THE RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE CEVEST VOCATIONAL TRAINING DEVELOPMENT PROJECT</p>	<p>今までの長期調査を通じて「CEVEST II」 とのプロジェクト名で合意を得ていたので 予算の手配も、右タイトルで実施していた。 名称変更の経緯を確認したい。</p>	<p>「CEVEST II」の名称は、第一フェーズで実 施した中小工業普及部門も取り上げて、第 二フェーズを開始するというように説明を 与えやすいと考える。第一フェーズの内、 職業訓練部門のみを対象に協力を行うとい う意味を、より明確にする上で、我が方案 とした。</p>	<p>別途、作成する「Minutes of understandin g」の表紙において、プロジェクト名につい て、説明文を入れる事とする。</p>
<p>The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan Inter- national Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Katsusuke IHARA visited the Republic of Indonesia from March 19 to 26, 1992 for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme concerning the CEVEST Vocational Training Development Project (hereinafter referred to as "the Project").</p>	<p>我が方案のとおり合意。</p>		<p>我が方案のとおり。</p>
<p>During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned in respect of desirable measures to be taken by both Government for successful implementation of the Project.</p>	<p>同上</p>		<p>同上</p>
<p>As a result of the discussions, the Team and the Indonesian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document as attached hereto. Jakarta, March 26 1992</p>	<p>同上 但し、署名日については、協議の経過によ り早期に署名した場合には実際の期日を入 れることとしたい。</p>	<p>「イ」側提案を了解。</p>	<p>過去の長期調査員等を通じ「日」「イ」 側共に、今次協力に対する準備状況は同じ レベル位まで達していた為、協議は円滑に すすみ、署名は3月24日に実施することと なった。</p>

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
 <p>Mr. KATSUSUKE IHARA Leader, Implementation Survey Team, Japan International Cooperation Agency, Japan</p>  <p>Mr. ISMAIL SUMARYO Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower, The Republic of Indonesia</p>	我が方案のとおり了解		我が方案のとおり合意
<p>THE ATTACHED DOCUMENT</p> <p>I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS</p> <p>1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in implementing the Project for the purpose of enhancement of the CEVEST for development of technical skills of vocational training instructors, technicians and workers.</p> <p>2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan shown in ANNEX I.</p>	同上	協力の目的をより具体的に、実現可能なレベルにまとめたことを補足説明の上、了解を求めた。	同上
<p>II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS</p> <p>1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan at its' own expense the services of Japanese experts as listed in ANNEX II through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.</p>	同上	追って、説明するが、専門家派遣には別途A1フォームが必要であり、早期発出について要請した。	同上

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>2. The Japanese experts referred to in 1 above and their families will be granted in the Republic of Indonesia privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries working in the Republic of Indonesia under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.</p>	我が方案のとおり了解		我が方案のとおり合意
<p>PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT</p> <p>1. In Accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for implementation of the Project as listed in ANNEX III, through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.</p>	同上	<p>機材供与についても別途A4フォームが必要であり、早期発出について、協力要請した。また、コンサイニーについて、確認、依頼、した。</p>	<p>我が方案のとおり合意した。 コンサイニーは次のとおり確認した。 「The Center for Vocational and Extension Service Training (CEVEST), JL. Guntur Raya No.1. BEKASI 17144 ,Indonesia」</p>
<p>2. The Equipment referred to in 1 above will become the property of the Government of the Republic of Indonesia upon being delivered c.i.f. to the Indonesian authorities concerned at the airports and/or borders of disembarkation, and will be utilized exclusively for implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.</p>	<p>資機材の利用に関して、専門家との「Consulation」とは、どのようなことを意味するのか。</p>	<p>目的外使用は原則として行なわないという趣旨である。 例えばD IIIコース用の機材は、D IIIコースに限定され、使用されるという意味である。また、機材の使用毎に専門家から「許可」を得るわけではないから、具体的には、専門家着任後、また機材到着後に「利用指針」などを作成することを提案した。</p>	我が方の案どおり合意。

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>TRAINING OF INDONESIAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN</p> <p>1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Indonesian counterpart personnel relating to the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.</p> <p>2. The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to effectively utilize the skills; knowledge and experiences acquired by the Indonesian counterpart personnel from technical training in Japan for implementation of the Project.</p>	<p>我が方案のとおり了解。</p> <p>我が方案のとおり了解。</p>	<p>プロジェクトによる技術移転の目的は、将来「イ」側が独自で運営していく考えであり、その意味でカウンターパートの定着が重要である。離職防止措置について検討を要請した。</p>	<p>R/Dは我が方案のとおり了解した。離職防止措置については対策を講じていくことは、可能である旨発言があった。</p>
<p>MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA</p> <p>1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense :</p> <p>(1) Services of Indonesian personnel as listed in ANNEX IV;</p> <p>(2) Land, buildings and facilities necessary for implementation of the Project as listed in ANNEX V;</p> <p>(3) Supply or replacement of machinery, equipment, spare parts and any other materials necessary for implementation of the Project other than those provided through JICA under III-1 above.</p>	<p>1. (3)の機材の部分については詳細過ぎるので「Supply or replacement of necessary equipment for the Implementation of the Project」に変更してはどうか。</p>	<p>本項目は JICA が実施するプロジェクトの R/D の通常 R/D と同様文言であり、日本側に対する了解を求めたが、「イ」側の変更要望は強い為、我が方案の内容が基本的に残るよう、「Instruments, Vehicles, tools」を削除することを再提案した。</p>	<p>「Instrument ,vehicles, tools」を削除する日本側再提案で合意した。</p>

インドネシアCEVEST職業訓練向上計画R/D案の討議経過について

5

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of Indonesia will take necessary measures to meet:</p> <p>(1) Expenses necessary for transportation within the Republic of Indonesia as well as for installation, operation and maintenance of the Equipment referred to in III-I above;</p> <p>(2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the Republic of Indonesia on the Equipment referred to in III-I above;</p> <p>(3) All running expenses necessary for implementation of the Project.</p>	<p>フェーズIの時は、スベアパーツ及びメンテナンス費についても日本側で負担した。</p>	<p>フェーズI協力は、アセアン人作り協力の一貫でもあり、日本側としても、特別な対応をしてきた経緯がある。今次協力はフェーズI協力の成果を発展させる意味で開始するわけである。「アセアン人作り協力」は終了し、「イ」国の人材養成に重点を置くものである。したがって「イ」側による運営経費の負担について、最大限の努力を要請する。また、本プロジェクトの機材無税通関について、労働省側としてしかるべき迅速な対応をお願いする。</p>	<p>日本側の考え方を了解し、我が方案とおりで合意した。また、機材の無税通関についても、必要措置を「イ」側が取ることを確認した。「イ」側は無税通関手続きには1カ月程度要する見込について説明するとともに、機材関係書類の早期送付について「日」側に対し依頼があり、「日」側もこれを了解した。</p>
<p>ADMINISTRATION OF THE PROJECT</p> <p>1. The Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower, will assume overall responsibility for implementation of the Project.</p> <p>2. The Director of CEVEST will assume responsibility for technical and managerial matters in implementing the Project at the project site.</p> <p>3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advise both to the Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower and the Director of the CEVEST so that can meet their responsibilities as referred to in 1 and 2 above.</p> <p>4. A Project Joint Committee will be established with the function and composition as referred to in ANNEX VI for effective implementation of the Project.</p> <p>5. A Project organization chart is as referred to in ANNEX VII.</p>	<p>我が方案とおりで合意。</p>		<p>我が方案とおりで合意。</p>

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS</p> <p>The Governments of the Republic of Indonesia shall undertake to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Indonesia except for those arising from willful misconduct or gross negligence by the Japanese experts.</p>	<p>「Willfull misconduct or gross negligence」の意味、趣旨は如何。</p>	<p>本項目についてはJICAの実施する全てのプロジェクトR/Dに含まれているものであることを説明の上、「故意に」「わざとおこなったこと」(例えば、無断欠勤、遅刻等)等により発生する問題については専門家の免責事項にならないという趣旨であることを説明した。</p>	<p>我方案とおりで合意。</p>
<p>MUTUAL CONSULTATION</p> <p>There will be mutual consultations between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.</p>	<p>我が方案とおりで合意した。</p>		<p>我が方案とおりで合意した。</p>
<p>TERM OF COOPERATION</p> <p>The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from June, 1, 1992</p> <p>ANNEX I. MASTER PLAN ANNEX II. JAPANESE EXPERTS ANNEX III. LIST OF MAIN ITEMS OF MACHINERY AND EQUIPMENT ANNEX IX. INDONESIAN PERSONNEL ANNEX V. LAND, BUILDING AND FACILITIES ANNEX VI. FUNCTION AND COMPOSITION OF THE JOINT COMMITTEE ANNEX VII. PROJECT ORGANIZATION CHART</p>	<p>1月の長期調査では9月1日を協力開始日としたが、6月1日に早める理由は。</p>	<p>以下3点を説明した 1. 機材調達の時間が必要 2. 専門家が、施設改修の工事に助言することも可能。 3. 教材開発等作成可能。</p>	<p>我が方案とおりで合意</p>

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>ANNEX-1. MASTER PLAN</p> <p>1. Object of Project</p> <p>(1) Establishment of instructor training courses in the fields of Industrial Electronics and Information Processing at Diploma III level.</p> <p>(2) Establishment of a training system to upgrade technical skills of personal (hereinafter referred to as "the skill-upgrading training") in the fields of Machining, Electricity and Electronics</p>	<p>(2)向上訓練の対象は将来「private enterprises」の人材だけではなく、労働省職員等に拡大されることも予想されるので、「technical skills of personnel」に修正したい。</p>		<p>(2)「technical skills of personnel」で合意した。</p>
<p>• Framework of Technical Cooperation</p> <p>2.1. Technology Transfer</p> <p>To enable counterpart personnel to conduct instructor training courses at Diploma III-level</p>	<p>我が方案とおりで合意。</p>		<p>我が方案とおりで合意。</p>

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>(2) Contents of Technology Transfer</p> <ul style="list-style-type: none"> - Development of syllabus and curriculum - Development of teaching materials - Operation and maintenance of the Equipment - Teaching method - Class operation method - Training evaluation - Training course preparation - Other necessary matters <p>(3) Training Fields</p> <ul style="list-style-type: none"> a) Industrial Electronics b) Information Processing 	我が方案どおりで合意。		我が方案どおりで合意。
<p>2.2. Skill-upgrading Training</p> <p>(1) Technology Transfer To enable counterpart personnel to conduct skill-upgrading training courses for workers and technicians more systematically</p>	上記1. プロジェクトの目的で協議したとおり「At private enterprises」の削除について要望があった。		「At private enterprises」を削除。

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>ANNEX II. JAPANESE EXPERTS</p> <p>1. Long Term Experts</p> <p>(1) Chief Advisor - 1</p> <p>(2) Coordinator - 1</p> <p>(3) Industrial Electronics for Diploma III - 1</p> <p>(4) Information Processing for Diploma III - 1</p> <p>(5) Planning and Management for the skill-upgrading training system (Machining) - 1</p> <p>(6) Planning and Management for the skill-upgrading training system (Electricity) - 1</p> <p>(7) Planning and Management for the skill-upgrading training system (Electronics) - 1</p>	<p>インドネシア側カウンターパートの人員については人数が明記されていることから、日本人長期専門家の人数についても明記することを要請（財政当局等に対しイ側の人員配置、予算手当について説明する際に必要だとの説明があった）。</p>	<p>「イ」側の要求は妥当なものと判断され、また、あらかじめ日本国内での協議の中で長期専門家の派遣の可能性まで或る程度の議論もすすんでいたことから、人数を明記することを了解した。</p>	<p>日本人長期専門家は、各1名ずつであることを明記した。</p>
<p>2. Short Terms Experts</p> <p>Short term experts will be dispatched when the necessity arises. Possible fields are as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Industrial Electronics - Information Processing - Planning and Management - Machining - Electricity - Electronics - Training Method - Other (s) 	<p>我が方案どおりで合意。</p>		<p>我が方案どおりで合意。</p>

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
ANNEX-III. LIST OF MAIN ITEMS OF MACHINERY AND EQUIPMENT 1. Industrial Electronics at Diploma III (1) Engineering Work Station (EWS) (2) Emulator (3) Personal Computer (4) Electronic Circuit Training Equipment (5) Board Type Microcomputers for Control System (6) Spectra Analyzer (7) Measuring Instrument (8) Others	我が方案のとおりで合意。		我が方案のとおりで合意。
2. Information Processing at Diploma III (1) Hardware - Server - Work Station - Local Area Network (LAN) - Others (2) Software - Operation System - UNIX - Computer Language - Utilities and others	我が方案のとおりで合意。		我が方案のとおりで合意。

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
3. Planning and Management Division (1) Printing Unit (2) Others	我が方案どおりで合意。		我が方案のとおりで合意。
Technical Training Division for the skill-upgrading training considered on a supplementary basis are the following. (1) Electricity - Programmable Logic Controller(PLC) - Automatic Control Load - Personal Computer - Others (2) Electronics - Personal Computer - Logic Trainer - Others (3) Machining - Automatic Programming Tools - Others	我が方案どおりで合意。		我が方案のとおりで合意。

インドネシアCEVEST職業訓練向上計画R/D案の討議経過について

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>ANNEX-IV. INDONESIAN PERSONNEL</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower 2. Secretary of Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower 3. Head of the Center for Vocational Training Centers, Ministry of Manpower 4. Director of the Directorate of Manpower Trainin and Development, Ministry of Manpower 5. Director of the CEVEST, Ministry of Manpower 6. Personnel of Diploma III-level Training in the CEVEST <ul style="list-style-type: none"> - Chief Instructor of Industrial Electronics -1 - Chief Instructor of Information Processing -1 - Instructors of Industrial Electronics -4 - Instructors of Information Processing -4 7. Personnel of the skill-Upgrading Training in the CEVEST <ul style="list-style-type: none"> - Head of Planning and Management Division -1 - Staff with machining expertise in Planning and Management Division -2 - Staff with electrical expertise in Planning and Management Division -2 - Staff with electronic expertise in Planning and Management Division -2 - Staff for public relations and recruitment of trainees in Planning and Management Division -3 - Chief Instructors and instructors in technical divisions -appropriate numbers 8. Supporting staff such as clerical staff and drivers 9. Administrative staff 10. Other necessary staff 	<p>Confirmed (3 ~4years Univerc Graduated)</p> <p>Confirmed (5 ~6years Univercity Graduated electronics)</p> <p>大学出 (2人) と D III (2人) の組み合わせ。</p> <p>セクションをディビジョンに変える</p> <p>Electrical Staffに変えてはどうか。</p> <p>3. Head of the center for vocational training (Puscatker)</p> <p>4. Director of training development system (Directorate Bincatnaker)</p>	<p>(1) 前回のミニッツで確認した主任指導員の能力を持っているか。</p> <p>我が方案にて合意</p> <p>Standerd the skill standerd industrization development</p>	<p>特に問題なし。</p> <p>セクションをディビジョンに変える</p> <p>「Secretary」を「Clerical」に変更。</p>

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>2-1-3. Others - Multipurpose Room</p> <p>2-2. Skill-Upgrading Training - Planning and Management Division Room - Meeting Room - Printing Room - Others</p>	我が方の案にて合意。	我が方の案にて合意。	
<p>FUNCTION AND COMPOSITION OF THE JOINT COMMITTEE</p> <p>1. Functions The Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises: (1) To discuss the annual work plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation. (2) To review the overall progress of the Project and the achievement of the annual work plan. (3) To exchange view on major issue arising from or in connection with the Project</p> <p>2. Composition (1) Chairman Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower (hereinafter referred to as "MM") (2) Indonesian Side a) Secretary of Director General of Manpower Development and Placement, MM b) Head of the Center for Vocational Training Centers, MM c) Director of the Directorate of Manpower Training and Development, MM d) Director of the CEVEST, MM e) Vice Director of the CEVEST, MM f) Head of Planning and Management Division of the CEVEST, MM g) Head of Training Division of the CEVEST, MM h) Project Administration, MM</p>	我が方の案にて合意。	我が方の案にて合意。	

サンガチェとシダルトをタリガンの前に置く
CEVEST E 関係先を調査する

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>(3) Japanese Side a) Chief Advisor b) Coordinator c) Experts d) Resident Representative, JICA Indonesia office e) Personnel concerned with JICA Headquarters, if necessary.</p> <p>NOTE: Officials of the Embassy of Japan will be invited to the Joint Committee as observers.</p>		<p>EXPERTS はプロジェクトの専門家（長・短）総局長への専門家はオブザーバーレベル。</p>	

R / D 案	「イ」側の対応	「日」側の対応	最終合意結果
<p>ANNEX-III. ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT</p> <pre> graph TD MOM[MINISTRY OF MANPOWER] --> DGM[Director General, Manpower Development and Placement] JET["(Japanese Experts Team)"] --> CA[Chief Advisor] JET --> CO[Coordinator Experts] DGM -.-> CA DGM -.-> CO DGM --> PJC[Project Joint Committee] PJC -.-> CA PJC -.-> CO PJC --> DC[Director, CEVEST] DC --> PA[Project Administrator] PA --> TT[Technical Training Division] PA --> PM[Planning and Management Division] TT --> DIII[Diploma III-level training 1) Industrial Electronics 2) Information Processing] TT --> SUT[Skill-upgrading training 1) Machining 2) Electronics 3) Electricity] PM --> TPD[Trainig Program Development 1) Machining 2) Electronics 3) Electricity] PM --> PR[Public Relation and Recruitment] </pre>	<ol style="list-style-type: none"> 1. セクションをディビジョンにする。 2. 破線の意味は 3. ジョイントコミッティーは「イ」側は実線にしても良いのではないか 	<ol style="list-style-type: none"> 1. OK 2. IndicationであってDirect controlの意味ではないこと。 3. 年1回の開催であり、「イ」「日」間で構成されるので、「イ」側が実線とすれば「日」位。 	

3. プロジェクト技術協力実施概要

3-1 プロジェクトの目標

インドネシア職業訓練指導員養成センター (CEVEST) を対象として、

- ①工業電子及び情報処理分野のディプロマIIIレベルの職業訓練指導員養成コースの設置
- ②機械、電気、電子分野の向上訓練システムの確立

を図り、インドネシア国における職業訓練指導員の養成、企業の技能者・労働者の技能の向上を目指しながら CEVEST の機能を高め、ひいてはインドネシア国の工業化による産業の発展等、国家開発に資することを目的とする。

3-2 技術協力の枠組み

3-2-1 D 3レベルの指導員訓練について

1. 技術移転目標

ディプロマIIIレベルの指導員養成訓練を運営できるカウンターパートを育成する。

2. 技術移転の内容

- 1) ディプロマIIIレベルのカリキュラム作成法
- 2) 授業で使用される教材の作成法
- 3) 教材、装置の操作及び保守
- 4) 指導技法
- 5) クラス (学級) 運営法
- 6) 訓練評価法
- 7) 授業の準備法
- 8) その他の必要事項

3. ディプロマIIIレベルの設定コース (訓練科) の概要

次に掲げるコースについてディプロマIII資格取得の訓練を実施する。

1) 訓練コース

- ・情報処理コース (科)
- ・工業電子コース (科)

2) 訓練対象者

労働省傘下の職業訓練指導員または同省傘下の政府雇用者

3) 訓練目標

・情報処理コース

コンピューターシステムの分析及び設計ができる職業訓練指導員を養成することを到達目標とする。

・工業電子コース

関連するソフトウェアを利用して、電子回路の設計、電子制御システムの基本設計ができる職業訓練指導員を養成することを到達目標とする。

4) 訓練期間及び年間入校回数

両コースとも3年訓練とし、年1回の入校とする。

5) 訓練生数定員

両コースとも、各学年とも15名を定員とする。

ただし、工業電子コースの場合、次の入学資格/受講条件で述べるように2年次からの中途編入が認められているので、全体計画を見た上で第1年次の受講者数(入学者数)を決定するものとする。

6) 入学資格/受講条件

・情報処理コース

高校卒業以上またはそれと同等の学歴を有するもの。

すべての受講者は3年訓練の第1学年から受講するものとする。

・工業電子コース

高校卒業以上またはそれと同等の学歴を有するもの。

電子科のディプロマII資格をすでに取得している者はディプロマIII訓練の第2学年から中途編入ができるものとする。

4. ディプロマIII資格の取得

インドネシア教育省からのディプロマIII資格取得について、イ側は特に困難もなく、取得事務処理に要する時間もそれほど必要としないよし説明があった。

これは、CEVESTが教育省から既にディプロマII資格を取得し、過去の経験があるためであるとの理由が重ねて説明された。

3-2-2 向上訓練について

1. 技術移転目標

民間企業就労者、テクニシャン、他省庁・民間企業の職業訓練指導員を対象とした向上訓練を系統的に運用できるカウンターパートを育成する。

2. 技術移転の内容

1) 計画管理部門

- ・ 訓練情報の収集
- ・ 訓練ニーズの調査
- ・ 計画, 開発と訓練コースの定型化
- ・ カリキュラムの策定
- ・ 広報
- ・ 受講生の募集
- ・ その他必要なこと

2) 訓練部門

- ・ カリキュラム, シラバスの作成
- ・ 訓練教材の作成
- ・ コース実施に必要な補完的技術指導

3. 訓練の概要

1) 訓練分野

以下の3分野とする。

- ・ 機械
- ・ 電気
- ・ 電子

2) 訓練生

以下を訓練コースの受講者とする

- ・ 民間企業の従業員とテクニシャン
- ・ 他省庁及び民間企業の職業訓練指導員

3) 訓練コースの設定

ニーズ調査の結果により, 利用可能な訓練機材, 指導員の訓練レベル等を考慮してコースを設定する。

4) 訓練生の数

1コースの受講者定員は, 訓練ニーズの大きさ, 訓練施設の訓練機材の数を定員設定条件として決定する。

5) 訓練レベル

CEVEST で設定される向上訓練コースのレベルは, 現有の指導員の技術レベルを超えないものとする。

3-3 日本側投入計画

3-3-1 長期専門家の派遣

長期専門家の派遣については、以下の7名の専門家を派遣することになった。

- ① チームリーダー
- ② 調整員
- ③ 工業電子（ディプロマⅢ）
- ④ 情報処理（ディプロマⅢ）
- ⑤ 計画・管理（向上訓練，機械）
- ⑥ "（"，電気）
- ⑦ "（"，電子）

専門家の派遣時期については、平成4年6月頃、チームリーダー、調整員、工業電子担当の3名の専門家を派遣し、その後、10月頃までには残る4名の専門家を派遣する計画であると述べた。

3-3-2 短期専門家の派遣

短期専門家派遣については、以下の分野について、必要に応じ派遣することとする。

- ① 工業電子
- ② 情報処理
- ③ 計画・管理
- ④ 機械
- ⑤ 電子
- ⑥ 電気
- ⑦ 指導技法
- ⑧ その他

インドネシア側より技能検定・評価の分野について、短期専門家を派遣してほしい旨の発言があったが、日本側より、この分野については、技能検定制度という国レベルの施策の下に、長期専門家を派遣し総体的に助言・指導を行なうことが効果的であり、プロジェクトへの短期専門家の技術協力分野としては適当でない旨の発言をした。

3-3-3 主要機材リスト

工業電子コース（DⅢコース）

1. エンジニアリングワークステーション (EWS)
2. エミュレーター
3. パーソナルコンピューター
4. 電子回路トレーナー
5. 制御用ボードコンピューター
6. スペクトルアナライザー
7. 電子回路測定機器
8. その他

情報処理コース (D IIIコース)

1. ハードウェア
 - 1) サーバー
 - 2) ワークステーション
 - 3) ローカルエリアネットワーク (LAN)
 - 4) その他
2. ソフトウェア
 - 1) オペレーティングシステム
 - 2) UNIX
 - 3) コンピューター言語
 - 4) ユティリティー
 - 5) その他

企画管理課 (向上訓練)

1. 印刷部門
2. その他

向上訓練実施部門

1. 電気
 - 1) プログラマプロジックコントローラ (PLC)
 - 2) 自動制御負荷装置
 - 3) パーソナルコンピューター
 - 4) その他
2. 電子

- 1) パーソナルコンピュータ
- 2) ロジックトレーナ
- 3. 機械
 - 1) 自動プログラミング装置
 - 2) その他

3-4 インドネシア側投入

CEVEST を管理運営する労働省関係者として、当初、日本側は

- ① 労働省人材開発及び配置総局長
- ② 同 次長
- ③ CEVEST 所長

の3名とする案を提出し検討していたが、インドネシア側から、労働省の全国153職業訓練センターを統括する部の課長、及び、D IIIコースを統括する責任者を加えたい旨の発言があり、討議の結果、それらの部の責任者を加えたほうが、CEVEST の管理運営上、適切であると判断し合意した。

又、訓練を実施する D IIIレベル及び向上訓練を担当する指導員等については、前回の調査団の結論と変わりはなく、以下のようにインドネシア側は配置すると約束した。

- ① 労働省人材開発及び配置総局長
- ② 同 次長
- ③ 職業訓練課長，労働省
- ④ 職業訓練開発課長，労働省
- ⑤ CEVEST 所長
- ⑥ D IIIレベル訓練関係
 - 工業電子主任指導員 1名
 - 情報処理主任指導員 1名
 - 工業電子指導員 4名
 - 情報処理指導員 4名
- ⑦ 向上訓練関係
 - 計画・管理部門長 1名
 - 〃 スタッフ（機械関係） 1名
 - 〃 スタッフ（電気関係） 1名
 - 〃 スタッフ（電子関係） 1名

〃 広報等 3名

訓練関係 向上訓練担当指導員 適切な数

- ⑧ サポートスタッフ（事務員、運転手等）
- ⑨ 庶務部門
- ⑩ その他

これらの訓練を担当する指導員を採用するための資格要件は次のとおりである。

D IIIレベルの訓練を担当する10名の主任指導員及び指導員のうち、3名については現在のCEVESTの経験豊富な指導員を当てることとし、7名については、今後、リクルートを行なって決定していくとのことであった。

その中で、工業電子を担当する主任指導員については、大学において電気分野を履修し、その後、数年間、当該分野の指導経験のある者を選出することになっている。又、情報処理を担当する主任指導員については、工業電子分野の指導員の資格を有し、さらに、資料1に示すような当該分野のカリキュラムの中で、No.2からNo.9（No.7を除く）の項目、すなわち、ソフトウェア工学、PCパッケージソフトウェア、オペレーティングシステム、プログラム言語、プログラム設計、コンピュータシステム等についての知識を十分有している者としている。

主任指導員以外の指導員については、労働省傘下の職業訓練施設の指導員の中から、大学卒業者又はD IIIレベルの資格を有している者を選考することとする。

次に、今回協力が開始される情報処理コースについては、今までインドネシア国において同様の訓練コースはなく、情報処理コースを指導できる指導員がいないため、インドネシア側は、プロジェクトが開始されるまでには、コンピューターに関し基礎的な知識を民間の訓練施設で研修させ、準備を図ると発言した。

次に、向上訓練を担当する指導員については、まず、計画・管理科長は大学卒業者で、長く指導員としての経験がある者を充てることとし、電気、電子、機械の分野を担当する指導員については、同分野の指導経験を永く有する者を充て、広報担当者については、大学卒業者を充てることとすると約束した。

4. その他特記すべき事項

4-1 プロジェクトの土地、建物、施設について

1. 土地、建物

現在の CEVEST 施設内の、工業普及員養成センターを改修し使用する。

2. 建物、施設

平成3年8月に派遣した長期調査員が建物の改修計画を作成し、平成4年3月3日、インドネシア側へ提出した。その計画書に基づきインドネシア側は、施設の改修を行なう予定である。すでに改修に必要な予算については、確保されており、まず施設については1992年10月には、完成する予定であり、内装関係については、1993年10月、すなわちD IIIレベルの訓練が開始する時期にはすべて完了すると発言した。

D IIIレベル及び向上訓練を実施するために準備される施設は次のとおりである。

(1) D IIIレベルの訓練について

・工業電子コース

会議室

専門家及び指導員室

教室

基礎訓練実習場

準備室

応用実習室

デバッグ室

資材室

・情報処理コース

会議室

準備室

電源室

教室

資材室

専門家及び指導員室

サーバー室

プリンター室

コンピューターワークステーション室

コンピューターローカルネットエリアワーク室

デバック室

・その他

多目的室

(2) 向上訓練について

計画・管理室

会議室

印刷室

その他

4-2 合同委員会について

プロジェクトの進捗状況をたえず把握し、当初計画したプロジェクトの到達目標に向け、日本側とインドネシア側双方が協議する場として合同委員会がある。

この委員会は少なくとも年1回は開催することとし、必要が生じたらいつでも開催できるものとしている。

協議する内容は、主としてプロジェクトの暫定計画書（TSI）にもとずいて、プロジェクトの進捗状況および年間の達成結果を評価し、よりよい方向へ軌道修正を行い、今後1年間の活動計画を作成するものである。

この合同委員会の議長は労働省人材開発及び配置局総長が行い、その他の構成委員は日本側及びインドネシア側については以下の通りである。

(1) インドネシア側参加者

- ・労働省人材開発及び配置局次長
- ・職業訓練課長，労働省
- ・職業訓練開発課長，労働省
- ・CEVEST 所長
- ・CEVEST 副所長
- ・計画・管理部門長
- ・訓練課長
- ・財政部門等

(2) 日本側参加者

- ・チームリーダー
- ・調整員
- ・専門家
- ・JICA インドネシア事務所関係者
- ・JICA 本部関係者（必要に応じて）

なお、大使館職員については、この合同委員会にはオブザーバー参加とするとともに、1992年3月に職業訓練分野の技術協力を行なう長期専門家についてもオブザーバー参加とするよう合意した。

4-3 プロジェクトの組織図について

日本側は第1案にて、図-1のようなプロジェクト組織図を調査団訪問前にインドネシア側に提出していたが、インドネシア側は1992年2月24日付 CEVEST D IIIコースを支援する委員会を発足させて、つぎのような図-2を作成し労働大臣の許可を取っていた。

しかし、この図は今まで長期調査員がインドネシア側と協議してきた内容とは異なっている点が多く、改正するよう要求した。しかし、インドネシア側はすでに大臣等の了解を得ているとのことから難色を示していたが、実態を正確に表現していないことを理解し、図-3のように修正することができた。こうして作成した図は新しいプロジェクトの組織を的確に表すことができた。

この中で、PROJECT ADMINISTRATOR とあるのは、財政当局及びサポーティングスタッフのことである。

6. 資 料

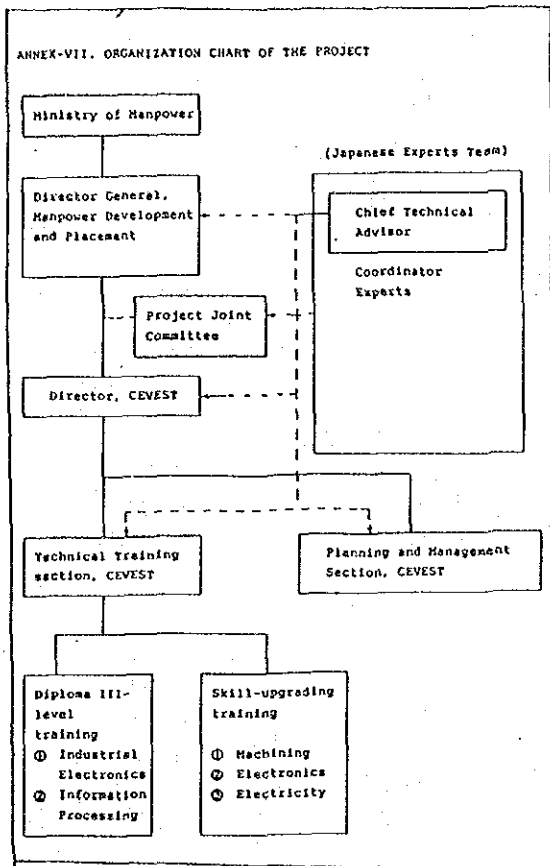
資料-1

設置内容 1 専攻区及工学部
 養成課程 DIPLOMA Ⅲコース (3年間) 5100時間 (学科=2520; 実技=2580)

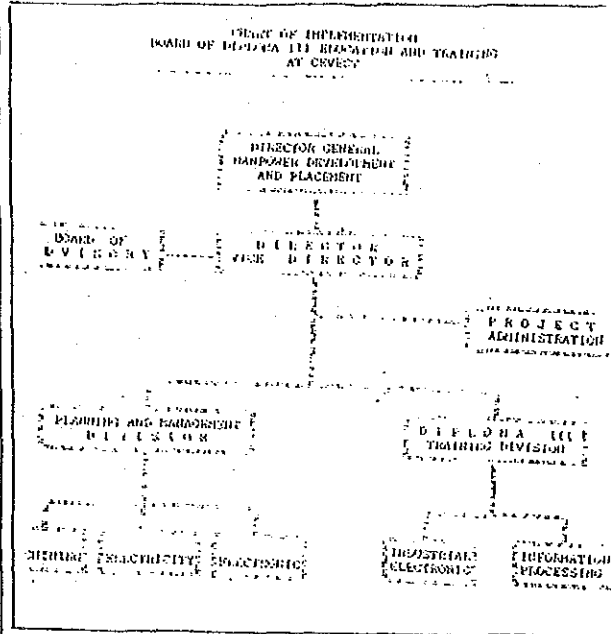
NO	科目名	主な内容	時間
①	一般学科		1000
1	特別研修	パンチャシラ、観望等	160
2	訓練技法		240
3	安全衛生		40
4	生産管理	品質管理、工程管理、資材管理	80
5	英語		160
6	数学		80
7	体育		120
8	行事		120
②	専門学科		1520
1	コンピュータシステム入門	コンピュータ概論、ハード・ソフトウェア	40
2	ソフトウェア工学入門	プログラム技法、アルゴリズム	60
3	PCパッケージソフトウェア	ワーカソフト、表計算ソフト、dbaseソフト	140
4	オペレーティングシステム入門	unix (OS)、ms-dos (OS)	80
5	プログラム言語-I	c言語、cobol言語	80
6	プログラム設計	モジュール化設計、モジュールの論理設計	60
7	財務会計	簿記、コンピュータ会計	80
8	コンピュータシステム	コンピュータシステム概論、データ通信	40
9	ソフトウェア工学	ソフトウェア設計、テスト、管理、環境	80
10	オペレーティングシステム	メインフレーム(OS) unix(OS)	80
11	プログラム言語-II	VSAM・オンライン・データベース及び c言語プログラミング応用	160
12	インタフェース入門	マンマシン・モジュール間インタフェース	40
13	システム設計入門	調査・分析手法、基本設計、詳細設計、 オペレーションマニュアル作成手法	60

NO	科 目 名	主 な 内 容	時 間
14	オペレーションズリサーチ	在庫管理 LP, PERT, シミュレーション	80
15	システム分析・設計	プロジェクト設計・監査, 応用設計	80
16	オンラインデータベースシステム設計	オンライン設計, データベース設計	120
17	CADシステム	CADによる製品設計	100
18	人工知能(ケース)	認知科学, 知能工学	80
19	システムジェネレーション	システム運用管理	60
③	専門実技		2580
1	PCパッケージソフトウェア	ワープロソフト, 表計算ソフト, dbase ソフト	240
2	オペレーティングシステム入門	unix (OS), ms-dos (OS)	160
3	プログラム言語-I	c言語, cobol言語	260
4	プログラム設計	モジュール化設計, モジュールの論理設計	60
5	オペレーティングシステム	メインフレーム(OS) unix(OS)	220
6	プログラム言語-II	VSAM・オンライン・データベース及び c言語プログラミング応用	460
7	インタフェース入門	マンマシン・モジュール間インタフェース	40
8	システム設計入門	調査・分析手法, 基本設計, 詳細設計, オペレーションマニュアル作成手法	140
9	システム分析・設計	プロジェクト設計・監査, 応用設計	160
10	オンラインデータベースシステム設計	オンライン設計, データベース設計	180
11	CADシステム	CADによる製品設計	180
12	人工知能(ケース)	認知科学, 知能工学	160
13	システムジェネレーション	システム運用管理	60
14	工場実習	OJT	260

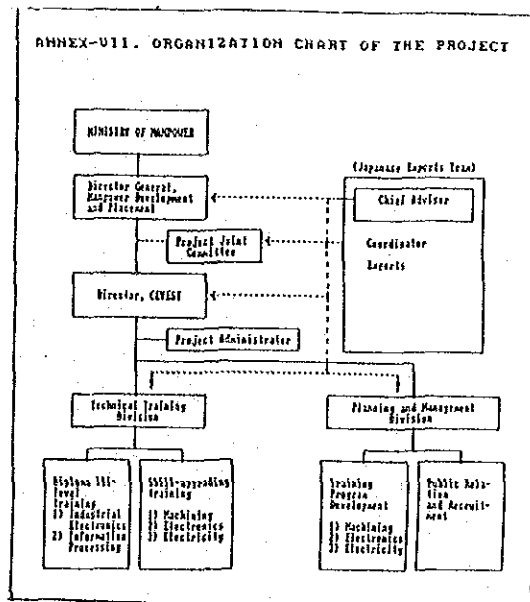
☒-1



☒-2



☒-3



THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE CEVEST VOCATIONAL TRAINING DEVELOPMENT PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Katsusuke IHARA visited the Republic of Indonesia from March 19 to 26, 1992 for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme concerning the CEVEST Vocational Training Development Project (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned in respect of desirable measures to be taken by both Governments for successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, the Team and the Indonesian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document as attached hereto.

Jakarta, March 24 1992

伊原

Mr. KATSUSUKE IHARA
Leader, Implementation
Survey Team, Japan
International Cooperation
Agency,
Japan

Sumaryo

Mr. ISMAIL SUMARYO
Director General of
Manpower Development
and Placement,
Ministry of Manpower,
The Republic of
Indonesia

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in implementing the Project for the purpose of enhancement of the CEVEST for development of technical skills of vocational training instructors, technicians and workers.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan shown in ANNEX I.

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan at its own expense the services of Japanese experts as listed in ANNEX II through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Japanese experts referred to in 1 above and their families will be granted in the Republic of Indonesia privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries working in the Republic of Indonesia under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In Accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for implementation of the Project as listed in ANNEX III, through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

K. I.



2. The Equipment referred to in 1 above will become the property of the Government of the Republic of Indonesia upon being delivered c.i.f. to the Indonesian authorities concerned at the airports and/or borders of disembarkation, and will be utilized exclusively for implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.

IV. TRAINING OF INDONESIAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Indonesian counterpart personnel relating to the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to effectively utilize the skills; knowledge and experiences acquired by the Indonesian counterpart personnel from technical training in Japan for implementation of the Project.

V. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense :
 - (1) Services of Indonesian personnel as listed in ANNEX IV;
 - (2) Land, buildings and facilities necessary for implementation of the Project as listed in ANNEX V;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, spare parts and any other materials necessary for implementation of the Project other than those provided through JICA under III-I above.

K.I.



2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of Indonesia will take necessary measures to meet:

- (1) Expenses necessary for transportation within the Republic of Indonesia as well as for installation, operation and maintenance of the Equipment referred to in III-I above;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the Republic of Indonesia on the Equipment referred to in III-I above;
- (3) All running expenses necessary for implementation of the Project.

VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower, will assume overall responsibility for implementation of the Project.
2. The Director of CEVEST will assume responsibility for technical and managerial matters in implementing the Project at the project site.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advise both to the Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower and the Director of the CEVEST so that can meet their responsibilities as referred to in 1 and 2 above.
4. A Project Joint Committee will be established with the function and composition as referred to in ANNEX VI for effective implementation of the Project.
5. A Project organization chart is as referred to in ANNEX VII.

K. I.

McC

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Governments of the Republic of Indonesia shall undertake to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Indonesia except for those arising from willful misconduct or gross negligence by the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultations between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from June, 1, 1992

- ANNEX I. MASTER PLAN
- ANNEX II. JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III. LIST OF MAIN ITEMS OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV. INDONESIAN PERSONNEL
- ANNEX V. LAND, BUILDING AND FACILITIES
- ANNEX VI. FUNCTION AND COMPOSITION OF THE JOINT COMMITTEE
- ANNEX VII. PROJECT ORGANIZATION CHART

K. I.



ANNEX-I. MASTER PLAN

1. Objective of the Project

- (1) Establishment of instructor training courses in the fields of Industrial Electronics and Information Processing at Diploma III level.
- (2) Establishment of a training system to upgrade technical skills of personnel (hereinafter referred to as "the skill-upgrading training") in the fields of Machining, Electricity and Electronics

2. Framework of Technical Cooperation

2.1. Instructor Training Courses at Diploma III-level

- (1) Technology Transfer
To enable counterpart personnel to conduct instructor training courses at Diploma III-level
- (2) Contents of Technology Transfer
 - Development of syllabus and curriculum
 - Development of teaching materials
 - Operation and maintenance of the Equipment
 - Teaching method
 - Class operation method
 - Training evaluation
 - Training course preparation
 - Other necessary matters
- (3) Training Fields
 - a) Industrial Electronics
 - b) Information Processing

2.2. Skill-upgrading Training

- (1) Technology Transfer
To enable counterpart personnel to conduct skill-upgrading training courses for workers and technicians more systematically

K. I.



(2) Contents of Technology Transfer

- a) Planning and Management Division
 - Collecting information related to training
 - Conducting surveys of training needs
 - Planning, developing and formulating training courses
 - Developing draft curriculum
 - Public relations
 - Recruiting trainees
 - Other necessary matters

- b) Technical Training Divisions
 - Developing curriculum and syllabus
 - Developing training materials
 - Technical matters in connection with relevant training fields on supplementary basis

(3) Training Fields

- a) Machining
- b) Electricity
- c) Electronics

K. I.

Pro

ANNEX II. JAPANESE EXPERTS

1. Long Term Experts

- | | |
|--|-----|
| (1) Chief Advisor | - 1 |
| (2) Coordinator | - 1 |
| (3) Industrial Electronics for Diploma III | - 1 |
| (4) Information Processing for Diploma III | - 1 |
| (5) Planning and Management for the
skill-upgrading training system (Machining) | - 1 |
| (6) Planning and Management for the
skill-upgrading training system (Electricity) | - 1 |
| (7) Planning and Management for the
skill-upgrading training system (Electronics) | - 1 |

2. Short Terms Experts

Short term experts will be dispatched when the necessity arises. Possible fields are as follows:

- Industrial Electronics
- Information Processing
- Planning and Management
- Machining
- Electricity
- Electronics
- Training Method
- Other (s)

K.I.

Recd

ANNEX-III. LIST OF MAIN ITEMS OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Industrial Electronics at Diploma III
 - (1) Engineering Work Station (EWS)
 - (2) Emulator
 - (3) Personal Computer
 - (4) Electronic Circuit Training Equipment
 - (5) Board Type Microcomputers for Control System
 - (6) Spectra Analyzer
 - (7) Measuring Instrument
 - (8) Others

2. Information Processing at Diploma III
 - (1) Hardware
 - Server
 - Work Station
 - Local Area Network (LAN)
 - Others
 - (2) Software
 - Operation System
 - UNIX
 - Computer Language
 - Utilities and others

3. Planning and Management Division
 - (1) Printing Unit
 - (2) Others

4. Technical Training Division for the skill-upgrading training
Considered on a supplementary basis are the following.
 - (1) Electricity
 - Programmable Logic Controller (PLC)
 - Automatic Control Load
 - Personal Computer
 - Others
 - (2) Electronics
 - Personal Computer
 - Logic Trainer
 - Others
 - (3) Machining
 - Automatic Programming Tools
 - Others

K.I.

ANNEX-IV. INDONESIAN PERSONNEL

1. Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower
2. Secretary of Director General of Manpower Development and Placement, Ministry of Manpower
3. Head of the Center for Vocational Training Centers, Ministry of Manpower
4. Director of the Directorate of Manpower Training and Development, Ministry of Manpower
5. Director of the CEVEST, Ministry of Manpower
6. Personnel of Diploma III-level Training in the CEVEST
 - Chief Instructor of Industrial Electronics -1
 - Chief Instructor of Information Processing -1
 - Instructors of Industrial Electronics -4
 - Instructors of Information Processing -4
7. Personnel of the Skill-Upgrading Training in the CEVEST
 - Head of Planning and Management Division -1
 - Staff with machining expertise in Planning and Management Division -2
 - Staff with electrical expertise in Planning and Management Division -2
 - Staff with electronic expertise in Planning and Management Division -2
 - Staff for public relations and recruitment of trainees in Planning and Management Division -3
 - Chief Instructors and instructors in technical training divisions - appropriate numbers
8. Supporting staff such as clerical staff and drivers
9. Administrative staff
10. Other necessary staff

K.I.

ANNEX V. LIST OF LAND, BUILDING AND FACILITIES

1. Land and Building

CEVEST, Jl.Guntur Raya No.1, Bekasi,

2. Building and Facilities

2-1. Instructor Training Courses at Diploma - III Level

2-1-1. Industrial Electronics

- Meeting Room
- Experts and Instructors Room
- Classrooms
- Basic Training Room
- Arrangement Rooms
- Application Training Room
- Debug Room
- Office Supply Room

2-1-2. Information Processing

- Meeting Room
- Arrangements Room
- Power Supply Room
- Classrooms
- Office Supply Room
- Experts and Instructors Room
- Server Room
- Printer Room
- Computer Workstation Room
- Computer Local Area Network Room
- Debug Room

2-1-3. Others

- Multipurpose Room

2-2. Skill-Upgrading Training

- Planning and Management Division Room
- Meeting Room
- Printing Room
- Others

K.I.

Na

FUNCTION AND COMPOSITION OF THE JOINT COMMITTEE

unctions.

The Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises:

- (1) To discuss the annual work plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation
- (2) To review the overall progress of the Project and the achievements of the annual work plan
- (3) To exchange views on major issues arising from or in connection with the Project

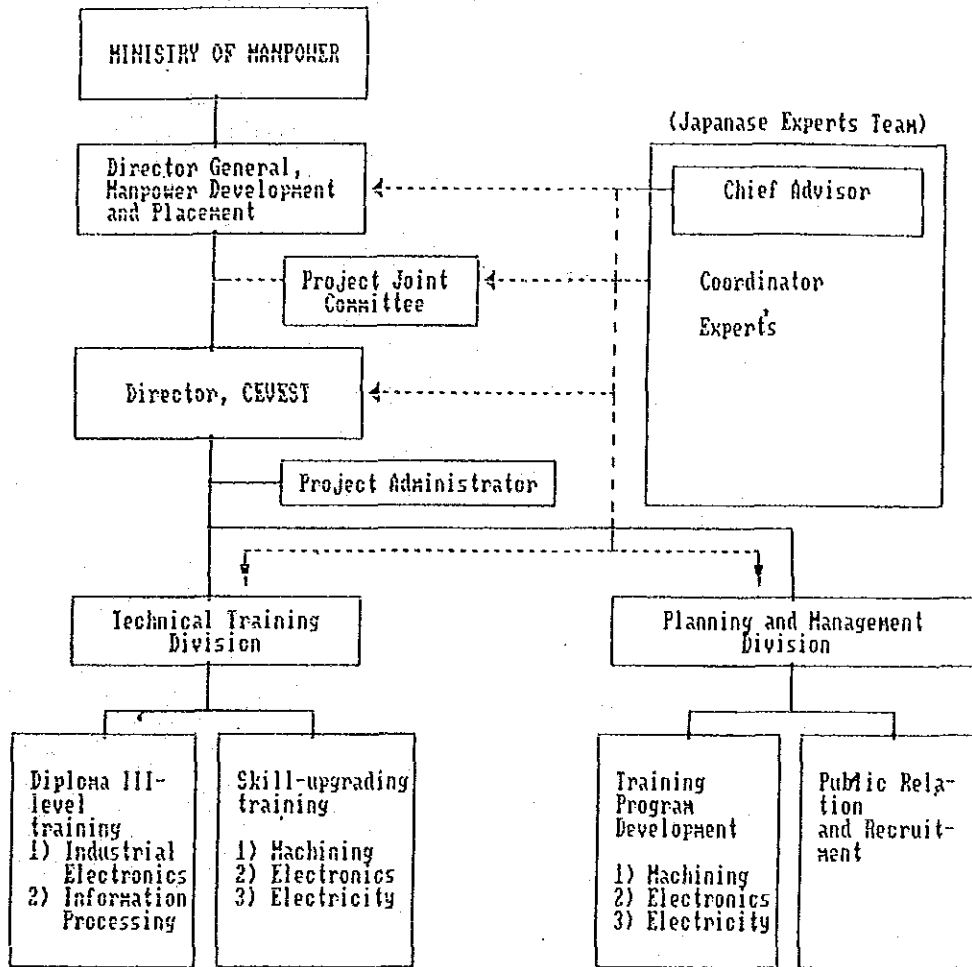
2. Composition

- (1) Chairman
Director General of Manpower Development and Placement,
Ministry of Manpower (hereinafter referred to as "MM")
- (2) Indonesian Side
 - a) Secretary of Director General of Manpower Development and Placement, MM
 - b) Head of the Center for Vocational Training Centers, MM
 - c) Director of the Directorate of Manpower Training and Development, MM
 - d) Director of the CEVEST, MM
 - e) Vice Director of the CEVEST, MM
 - f) Head of Planning and Management Division of the CEVEST, MM
 - g) Head of Training Division of the CEVEST, MM
 - h) Project Administrator, MM
- (3) Japanese Side
 - a) Chief Advisor
 - b) Coordinator
 - c) Experts
 - d) Resident Representative, JICA Indonesia Office
 - e) Personnel concerned with JICA Headquarters, if necessary

NOTE : Officials of the Embassy of Japan will be invited to the Joint Committee as observers.

K.I.

ANNEX-UII. ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT



K-I

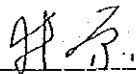
Ma

MINUTES OF UNDERSTANDING
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE CEVEST VOCATIONAL TRAINING DEVELOPMENT
PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "the JICA") headed by Mr. Katsusuke Ihara, visiting the Republic of Indonesia from March 19, 1992, has conducted a meeting with Mr. Ismail Sumaryo, Director General of Manpower Development and Placement, for the purpose of discussing the implementation of the CEVEST Vocational Training Development Project (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay, both the Team and the Indonesian authorities had a series of discussions in respect of desirable measures to be taken by both Governments for successful implementation of the Project and signed the Record of Discussions on March 26, 1992. This Record of Discussions is based on the Minutes of Meeting which was conducted in January 27, 1992 with the title of "the Technical Cooperation Program for the Second Phase of the CEVEST". On this occasion, both sides also reconfirmed the matters as attached hereto.

Jakarta, March 24 1992


Mr. KATSUSUKE IHARA
Leader, Implementation
Survey Team, Japan
International Cooperation
Agency,
Japan


Mr. ISMAIL SUMARYO
Director General of
Manpower Development
and Placement,
Ministry of Manpower,
The Republic of
Indonesia

THE ATTACHED DOCUMENT

1. Outlines of Training Implementation Plan

1-1. Instructor Training Courses at Diploma III-Level

(1) Training Fields

- a) Industrial Electronics
- b) Information Processing

(2) Target Trainees of Diploma-III Level Training

- Instructors of the Ministry of Manpower
- Government employees of the Ministry of Manpower

(3) Training Target

a) Industrial Electronics

To train and enable vocational training instructors to design electronic circuits and make basic designs of electronic control systems by using related software

b) Information Processing

To train and enable vocational training instructors to analyze and design computer application systems

(4) Numbers of Trainees Per Group

- a) Industrial Electronics - 15
- b) Information Processing - 15

(5) Course Duration

- a) Industrial Electronics - 3 years
- b) Information Processing - 3 years

(6) Condition of Enrollment

a) Industrial Electronics

- Minimum qualification of trainees will be high school graduates or those equivalent to same levels.
- Trainees holding Diploma II qualification in electronics can enroll from the second year of Diploma III-level training course.

K. I.

flu

b) Information Processing

- Minimum qualification of trainees will be high school graduates or those equivalent to same levels.
- All the trainees will be requested to take part in the training from the first year of Diploma III-level training course.

1-2. Skill-Upgrading Training

(1) Training Fields

- a) Machining
- b) Electricity
- c) Electronics

(2) Target Trainees of Skill-Upgrading Training

- Workers and technicians at private enterprises
- Vocational training instructors of other ministries and private training institutions

(3) Numbers of Trainees

Numbers of trainees will be decided depending on training needs and on numbers of machinery and equipment items available at the CEVEST.

(4) Training Courses

Training courses will be determined in consideration of the findings of needs surveys, availabilities of facilities at the CEVEST, instructors' technical skills and so on.

(5) Training Level

In principle, the technical levels of training courses will not be higher than the current technical levels of the CEVEST.

2. Building Renovation Work

Renovation work will be undertaken according to the designs submitted to the Indonesian side dated on March 3, 1992 by the Japanese side.

K. I.

Indonesian side explained that necessary budget had been already approved to complete the renovation work by November, 1992. Installment of office fixtures will be completed by October of 1993, accordingly.

3. Establishment of the Implementing Organization of the Project.

Indonesian side explained that it had made a special instruction, that is the Minister's Decree called KEP. 87/MEN/1992 attached as ANNEX I, dated on February 24, 1992, to officially declare the organization of the CEVEST and its supporting body named as the Advisory Council to attain successful achievements especially by conducting Diploma III-level training at the CEVEST. The Advisory Council will function in honorable sense.

4. Approval of Diploma III-Level Training.

Indonesian side reaffirmed that it would not be difficult and not take longer time to get the approval of Diploma-III level training at the CEVEST from the Ministry of Education and Culture because the CEVEST was already the institution implementing Diploma II-level training courses.

Inter-coordination approach will further be taken to obtain the authorization of the Diploma III-level training at the CEVEST before the commencement of the said training between the Ministry of Manpower and the Ministry of Education and Culture, accordingly.

5. Request Forms for the Assignment of Japanese Experts and the Provision of Machinery and Equipment.

Indonesian side agreed to forward the relevant request forms, namely A-1 form for the assignment of Japanese Experts and A-4 form for the provision of machinery and equipment at its earliest possible.

K.I.

Japanese side explained that it would try its best to respond to those requests.

Indonesian side requested to the Japanese side to further consider the items of machinery and equipment for the Planning and Management Division.

Japanese side assured that the specification of machinery and equipment for the Planning and Management Division would be finally determined in consideration of the function of the Division that is to be more mobile to and more frequently communicatable with private enterprises to effectively assume the activities of the Division.

6. Counterpart Personnel

Indonesian side confirmed to secure the following counterpart personnel.

(1) Diploma III-Level Training

- a) Chief instructor for Industrial Electronics with university graduate of electronics and several years of experience in the said field.
- b) Chief instructor for Information Processing with university graduate of electronics and several years of experience in electronics. He has competency in the No.2 through No 9 subjects except No 7. of proposed curriculum in the Minutes of Meeting signed on January 27, 1992.
- c) Instructors for both courses will be nominated from the candidates of university graduates and Diploma III holders. Nominated instructors for Information Processing will take basic training related to computer engineering by the effort of the Indonesian side.

(2) Skill-Upgrading Training

- a) Head of Planning and Management Division with university graduate and long experience as instructors
- b) Staff with electrical, electronic and machining expertise with long experience as instructor in the respective field

K. I.



c) Staff for public relations and recruitment with university graduate

7. Dissemination of the achievements of the Project

Indonesian side assured to support local vocational training centers so as to enable them to implement training fields such as Industrial Electronics and Informations Processing by utilizing the instructors completing relevant Diploma III - level training courses by the Project.

K. I.

5

Handwritten signature



MENTERI TENAGA KERJA
REPUBLIK INDONESIA

MINISTER OF MANPOWER
OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

D E C I S I O N

MINISTER OF MANPOWER OF THE REPUBLIC OF MANPOWER
NUMBER : KEP. 87 /MEN/1992

R E G A R D I N G

ESTABLISHMENT OF THE IMPLEMENTING ORGANIZATION
FOR BEKASI, CEVEST DIPLOMA III
EDUCATION AND TRAINING PROGRAM

THE MINISTER OF MANPOWER

- Considering :
- a. that in the effort to create integrity and skilled candidate instructors, experts, and technicians, which constitute one of the efforts to develop human resources in the scheme to support the development of the country, there is a need for training;
 - b. that to improve effectiveness and efficiency of guidance and training of BLK/KLK instructors, experts, and technicians in other government, companies and private training institutions, there is a need to give an opportunity for training at Bekasi CEVEST Education and Training Centre, in an effort to improve expertise and skills of the instructors and employees.

- c. that the Government of Japan through her JICA intends to continue her assistance in the scheme of technical co-operation with Bekasi CEVEST Education and Training Program, and there is, therefore a need to establish an "Organization" which specifically handles the Japanese Government's assistance.

- Remembering :
1. Presidential Decision, No. : 44 Year 1974;
 2. Presidential Decision, No. : 45/M Year 1988;
 3. Presidential Decision, No. : 15 Year 1984;
further ammended by the Presidential Decision No. : 12 Year 1986;
 4. Decision of the Minister of Manpower
No. : KEP - 199/MEN/1983.
 5. Decision of the Minister of Manpower
No. : KEP - 1309/MEN/1986.
 6. Decision of the Minister of Manpower
No. : Kep - 525/MEN/1988.

Taking into

Consideration : Agreement of the State Minister for Efficiency of State Apparatus in his letter No. : 656/I/MENPAN/12/1986, dated 4 December 1986.

D E C I D E D

The establishment of the organization which is operationally handling the implementation of instructors' training for Diploma III, in collaboration with the Japanese Experts in the framework of the Japanese Government's Technical co-operation, which hereinafter called the Implementing Organization of CEVEST Diploma III Education and Training Program.

ARTICLE I
DUTIES AND LOCATION

Chapter 1

- (1) The Head of the Implementing Organization of CEVEST Diploma III Education and Training Program, or called the Director of CEVEST Diploma III Education and Training Program, is responsible to conduct the guidance and training for BLK-KLK instructors, experts and technicians in other Government's, companies and private training institutions for various vocations, by using their workshops, dormitories, and other facilities.
- (2) This Organization is located at the Bekasi CEVEST BLK by utilizing the existing facilities, means, and personnel / instructors.

Chapter 2

- (1) This Organization is under the jurisdiction of and responsible to the Director General for Manpower Development and Guidance, and in its daily operations will be assisted by the Director for Vocational Training Development and the Head of PUSLATKER according to their functions and duties.
- (2) In implementing the development described in Chapter 1, the Director for Vocational Training Development and Head of PUSLATKER will consult the Director General for Manpower Development and Placement in matters relating training programs for instructors, experts and technicians.

Chapter 3

To conduct the duties described in Chapter 1, the Organization has the following functions :

- a. Formulation of plans for the implementation activities and program management related to the formulations of training systems and methods, collection of training needs information, and determination of plans, development and formulation of the implementation of training programs.
- b. To formulate training implementation programs, prepare curriculums, sillabies and training facilities, and conduct training and its administration.

ARTICLE II
ORGANIZATIONAL STRUCTURE

Chapter 4

(1) Education and Training for Diploma III Program, consists of :

- Director
- Vice Director
- Division for Planning and Management for machining, electricity and electronics.
- Division for Diploma III Training for industrial electronics and information processing.
- Administration Division, and Administration of Education and Training for Diploma III Program.

- (2) To smoothe the implementation of activities of Diploma III Program, assisted by the Japanese Government, a Project Manager and a Project Treasurer will be appointed, who are responsible to the Director of the Diploma III Program.
- (3) To enable the Diploma III Program to achieve optimum results, and Advisory Council consisting of figures and scientists who are mastering the fields related to Education and Training for Diploma III Program, and the prospects of training in the future.

ARTICLE III

WORK PROCEDURES

Chapter 5

In conducting its duties, the Director and Vice Director of Diploma III Program, Head of the Division for Planning and Management, Head of the Division for Training, Project Manager, and Project Trasurer are obliged to apply the principles of coordination, integration, and synchronisation in their respective environments as well as in inter-organizational units within Diploma III Program, and with other organizations according to their respective duties.

Chapter 6

Each organizational units' manager are obliged to control their sub-ordinates, and if there is deviation, they have to take the needed steps in accordance to existing regulations.

Chapter 7

Each organizational units within the Diploma III Program, is responsible to supervise and coordinate their respective subordinates, and give guidances and directives related to the implementation of the duties of their sub-ordinates.

Chapter 8

Each manager of the organizational units is obliged to follow and obey the guidelines, and be responsible to their respective superiors, and submit periodic reports at the times decided; to smoothe the implementation of duties, and to conduct periodic meetings.

Chapter 9

Each report from sub-ordinates received by the managers of the organizational units, is obliged to be processed and used as a material for further formulation of reporting, and for the purposes of decision making in giving guidances to sub-ordinates.

ARTICLE IV

CLOSING

Chapter 10

Diploma III Program may be used to educate instructors of Government, companies, and private training institutions.

Chapter 11

This Decision comes into force on the date of decision.

DECIDED IN : J A K A R T A
ON THE DATE OF : 24 FEBRUARY 1992

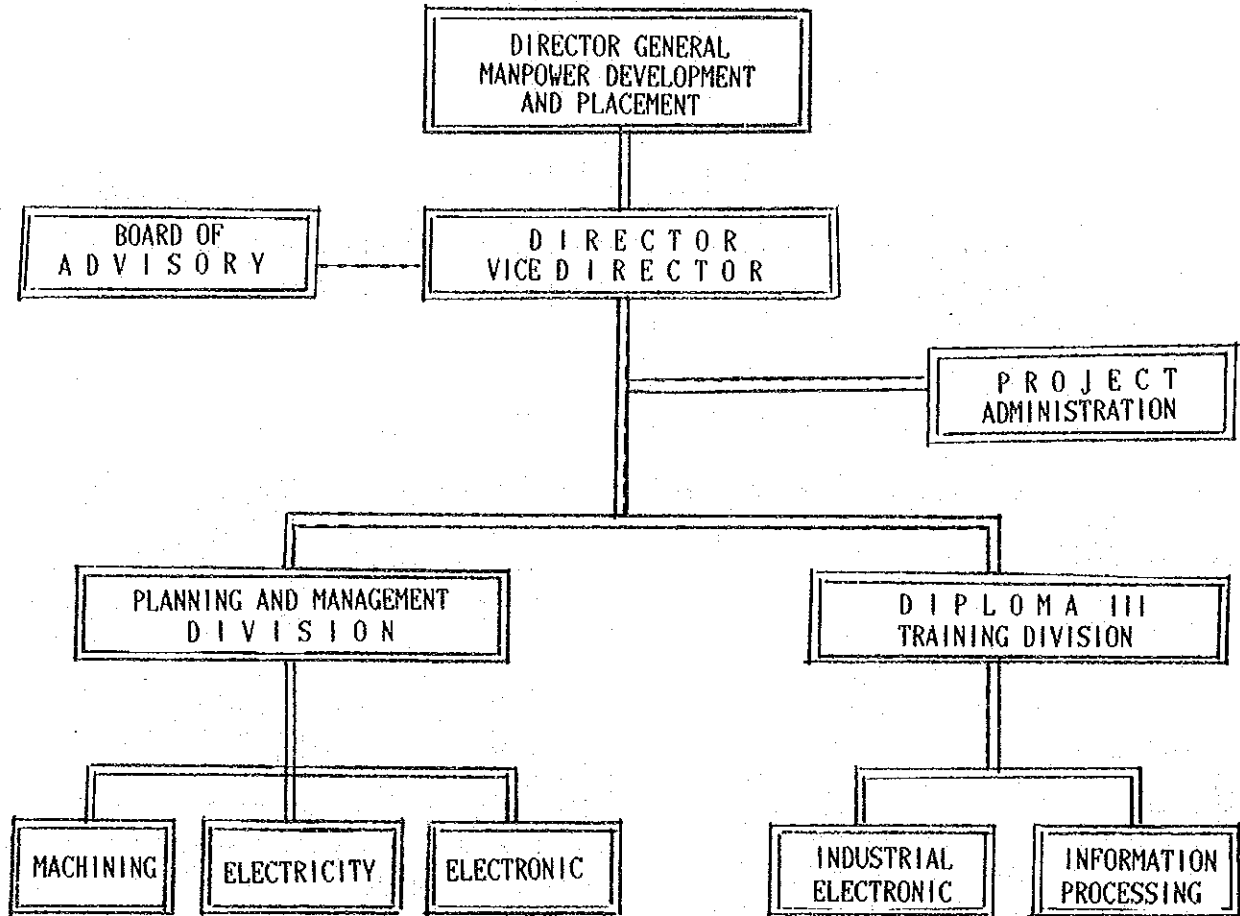
MINISTER OF MANPOWER
OF THE REPUBLIC OF INDONESIA,


DRS. COSMAS BATUBARA

- c.c: (1) Minister of Finance of the Rep. of Indonesia;
(2) BAPPENAS;
(3) Secretary General, Ministry of Manpower;
(4) Inspector General, Ministry of Manpower;
(5) Director General, DINAPENTA; Ministry of Manpower;
(6) Director General, BINAWAS, Ministry of Manpower;
(7) Director, PUSLATKER Ministry of Manpower;
(8) Director, BINLATNAKER, Ministry of Manpower
(9) CEVRST;
(10) Personnel, Implementor;
(11) Members of the Advisory Council;
(12) File.

MINIST/OP1/PR/140292

CHART OF IMPLEMENTATION
BOARD DIPLOMA ITJ EDUCATION AND TRAINING
AT CEVEST



Jakarta, 24 February 1992

MINISTER OF MANPOWER OF THE
REPUBLIC OF INDONESIA



DRS. COSMAS BATUBARA

ATTACHMENT : II

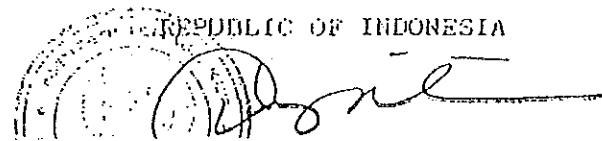
ORGANISATIONAL STRUCTURE AND PERSONNEL IMPLEMENTOR OF
BEKASI CHEVEST EDUCATION AND TRAINING FOR DIPLOMA III

NO.	N A M E	FUNCTION IN ED AND TRG. FOR DIPLOMA III	R E M A R K S
1.	Drg. Halison Tarigan Nip. 160009673	D i r e c t o r	
2.	Ir. Syamsu Ardian Nip. 1600092112	Vice Director	
3.	Drs. B. Nasir Nip. 160013363	Head, Division for and Management	
4.	Drs. Udang Manuraga Nip. 160013473	Head, Division for Training	
5.	Ir. Saruli Sinurat Nip. 160013491	Adm. Division/Project Management Adm.	
6.	Mujiwijaya Nip. 160008546	Project Treasurer	

Jakarta, 24 February 1992

MINISTER OF MANPOWER OF THE

REPUBLIC OF INDONESIA



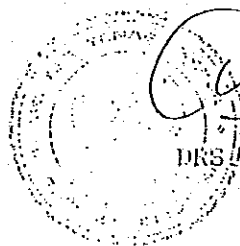
ATTACHMENT : III

ADVISORY COUNCIL FOR THE IMPLEMENTATION
OF EDUCATION AND TRAINING FOR DIPLOMA III AT CEVEST

NO.	N A M E	F U N C T I O N
1.	Drs. Cosmas Batubara	Chairman
2.	Dr. Yudo Swasono	Secretary
3.	S u d o m o	M e m b e r
4.	Prof. DR. Awaludin Djamin	M e m b e r
5.	Prof. Drs. Harun Zein	M e m b e r
6.	Ir. Drs. Danang D Yudonagoro	M e m b e r
7.	Prof. Dr. Conny Semiawan	M e m b e r
8.	D a r w a n t o	M e m b e r
9.	Ismail Sumaryo	M e m b e r
10.	Dr. Payaman Simanjuntak	M e m b e r
11.	Drs. Pitoyo, MA	M e m b e r

Jakarta, 24 February 1992

MINISTER OF MANPOWER OF THE
REPUBLIC OF INDONESIA



Cosmas Batubara
DRS. COSMAS BATUBARA

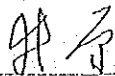
TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
FOR
THE CEVEST VOCATIONAL TRAINING DEVELOPMENT PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") and the authorities concerned of the Government of the Republic of Indonesia agreed to the Tentative Schedule of Implementation of the Project (hereinafter referred to as "the T.S.I.") as attached hereto.

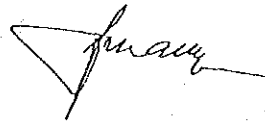
This was formulated in line with the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Team and the Indonesian authorities concerned, on condition that the necessary budget is allocated for implementation of the Project.

Both the Team and the Indonesian authorities agreed that the T.S.I. is subject to change within the framework of the Record of Discussions as the necessity arises in the course of implementation.

Jakarta, March 24 1992.



Mr. KATSUSUKE UJARA
Leader, Implementation
Survey Team, Japan
International Cooperation
Agency,
Japan



Mr. ISMAIL SUMARYO
Director General of
Manpower Development
and Placement,
Ministry of Manpower,
The Republic of
Indonesia

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

(Fiscal Year)

	1992 / 1993	1993 / 1994	1994 / 1995	1995 / 1996	1996 / 1997	1997 / 1998
I. Terms of Cooperation						
II. Inputs by the Japanese Side						
1. Dispatch of Long-term Expert						
(1). Chief Advisor						
(2). Coordinator						
(3). Industrial Electronics (DIII)						
(4). Information Processing (DIII)						
(5). Planning and Management (Machining)						
(6). Planning and Management (Electricity)						
(7). Planning and Management (Electronics)						
2. Dispatch of Short-term Experts						
3. Provision of Machinery and Equipment						
4. Training of Indonesian Personnel in Japan						
III. Inputs by the Indonesian Side						
1. Services of Indonesian Personnel						
2. Expenses for Implementation of the Project						
3. Building Renovation Work						
4. Office Fixtures						
IV. Project Joint Committee						
V. Implementation of Training Courses						
1. Instructor Training Courses (DIII)						
2. Skill-Upgrading Courses for Workers and Technicians at Private Enterprises						
	4/1 10/1 7/1 1/1	4/1 10/1 7/1 1/1	4/1 10/1 7/1 1/1	4/1 10/1 7/1 1/1	4/1 10/1 7/1 1/1	4/1 10/1 7/1 1/1

file